

図3 取り組みの一例（統合保育所）



図4 計画策定イメージ

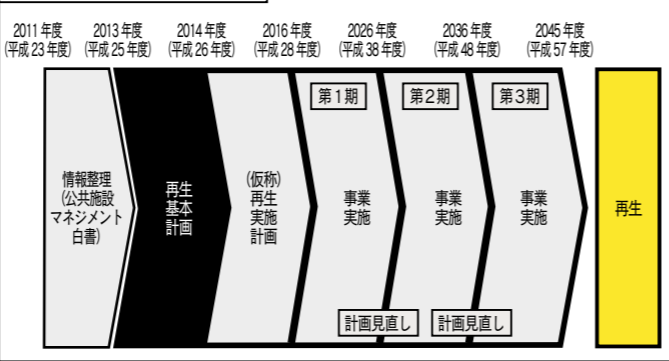


図6 PDCAサイクルのイメージ

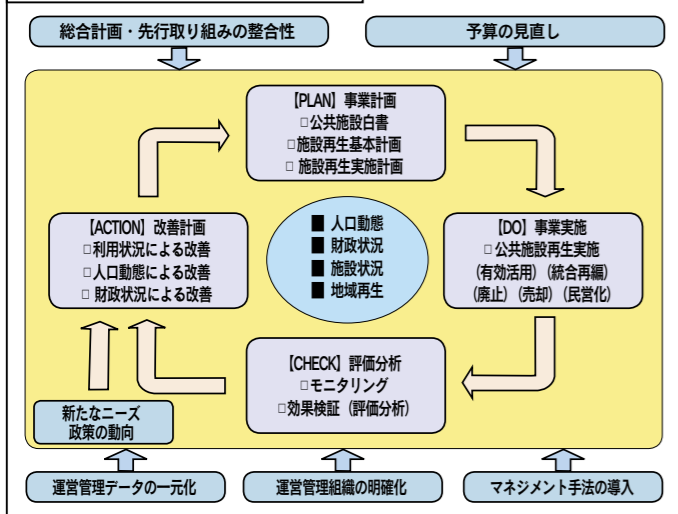


図5 取り組みイメージ



シリーズ市政の「今」 第10回

施設再生へ

公共施設の再生に向けた取り組みを推進

市では、「子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまち・舞鶴」の実現を目指しており、公共施設の多機能化や複合化、長寿命化など、施設のあり方の検討と再生事業の実施に向けた具体的な計画づくりを進めています。シリーズ市政の「今」。第10回は、市民サービスのさらなる向上を目指す公共施設の再生に向けた取り組みについてお知らせします。

公共施設マネジメント白書を作成
平成25年3月に市が保有する公共施設を対象に、「公共施設マネジメント白書」を作成しました。これは、その機能や配置状況、経年劣化や耐震性などの建物の状況、利用状況や稼働率、運営方法や運営経費などを、さまざまな角度から把握・整理したものです。この総合的な分析により、市における公共施設の現状が明らかになりました。

現状と課題
市では、1960～1980年代の高度経済成長期にかけて多くの公共施設を整備し、市民生活の質の向上に努めてきました。市には、庁舎、学校、公民館、市営住宅など139施設、総延床面積31・8万平方メートルの公共施設があります（平成24年4月1日時点）。

現在、これらの施設が一斉に老朽化し、その多くが更新時期を迎えつつあります。舞鶴市でも、築30年以上経過した公共施設は14・5万平方メートル（全体の46%）あり、老朽化に伴う大規模改修や建て替えなどの課題に直面しています（図1）。

また、人口減少や少子高齢化による社会構造の変化など、市民

ニーズの変容に伴い、施設の余剰や不足も生じています。さらに、建物のみならず、設備や機能の老朽化により、サービスの内容が相対的に低下している状況にあります。

現在の公共施設をこれまでどおり継続して保有した場合、今後40年間で改修や建て替えのために必要な費用は、約1,287億円（年平均32・2億円）となります。

過去5年間の投資的経費の平均が約27・8億円であることから、施設の改修、建て替えに必要な費用の86%しか確保できず、年4・4億円、40年で175億円の不足が生じることになります（図2）。

施設のあり方を検討
限られた財源の下で、公共施設をどのように運営し、市民サービスの向上を図っていくかは、避けては通れない大きな行政課題となっています。

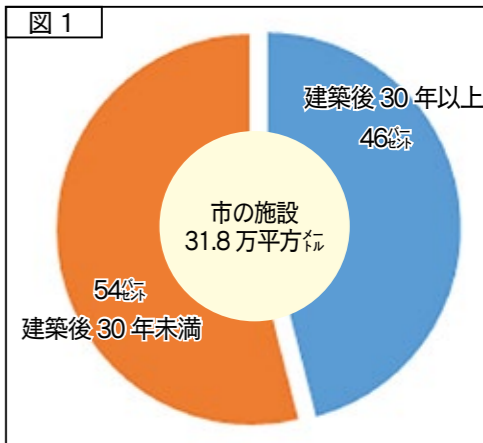
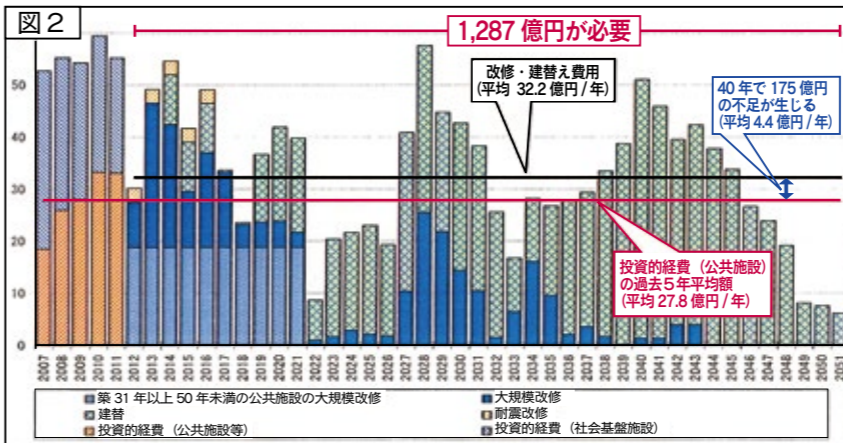
そのため、公共施設の実態を把握し、課題を整理した上で、市民の皆さんの声を聞きながら施設の改善や有効活用など、公共施設の再生に向けた計画づくり（公共施設マネジメント）を進めていく必要があります（図3）。

計画の策定
「公共施設マネジメント白書」で整理した内容をもとに、この度、施設の再生を行う上での目標や方向付け、取り組みの優先度など基本的な考え方を明らかにした「公共施設再生基本計画」を策定しました。

公共施設の再生は、短期で実施できるものではなく、長期にわたる計画的に取り組んでいく必要があります。このため、本計画の対象期間は平成25年度（2013年度）から平成57年度（2045年度）までとしています。

この計画に基づき、今年度、全ての施設の再生の方向付けを示す「公共施設再生実施計画」の策定作業に着手します。この再生実施計画は、各施設再生に向けた取り組みの優先度が高いものから順に3期に分類し（1期10年）再生に取り組んで行くものです（図4）。

再生の目標と具体的な取り組み
① **質・サービス・利便性の向上**：変化する社会構造や市民ニーズに対応する施設の再生を実現し、質・サービス・利便性を向上させるとともに、舞鶴の歴史や風土に配慮。市民が愛着の持てる施設づくりを推進します。
② **再生のための財政的取組の推進**：施設の再生を実効性のあるもの



着実な計画の実行に向けて
公共施設を「公共サービスを提供する機能」と「公共サービスを提供するための建物」に分けて検討し、「機能」は各担当課が所管を担い、「建物」は統括組織が一元管理を行うことで、施設の管理体制を構築します。また、目標の達成に向けてPDCAのマネジメントサイクルのとりと、必要に応じて新たな公共サービスのニーズを盛り込むなど計画内容の見直しを定期的に行い、着実に実行に移していきます（図6）。

市民の視点に立って
今後も、施設の長寿命化や多機能化・複合化などによる再生への取り組みを進めるとともに施設の適正な管理運営を実施し、将来にわたって、利用者の視点に立ち、持続可能な施設の質・サービス・利便性の向上を図っていきます。